

[HOME | バックナンバー | 総領 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年  
2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 101号(1990年1月)～112号(1990年12月)

## 112号(1990年12月)

- ・ 国連平和協力法案廃案その後 国崎 俊
- ・ 真に革命的な日朝共同闘争の展開を創り出そう！ プロレタリア行動委員会
- ・ 多様な共同行動を進展させ、新たな革命的な政治闘争を創出しよう！ プロレタリア行動委員会
- ・ 商品-商品生産は廃絶できないか？(7)-商品世界の根本的転覆に向けて- 国崎 俊

## 111号(1990年11月)

- ・ ブルジョアジーの国際協力がプロレタリアートの国際連帯か-自衛隊海外派兵阻止- 『火花』編集委員会
- ・ 帝国主義の中東軍事介入と運動の新たな高揚の可能性 高橋 涉
- ・ 民族国家・国民国家の枠を突き破るプロレタリアートの闘争主体を進展させよう！-指紋押捺・転写拒否、全面拒否闘争支持！外登法・入管体制解体！- プロレタリア行動委員会
- ・ 商品-商品生産は廃絶できないか？(6)-商品世界の根本的転覆に向けて- 国崎 俊

## 110号(1990年10月)

- ・ 11月『即位の礼・大嘗祭』に向け反天皇制闘争の高揚をかちとろう！ 三田村 亮
- ・ 中東『貢献』策の論理がしめすもの 高橋 涉
- ・ 『在日韓国・朝鮮人の処遇に関する提言』をめぐって プロレタリア行動委員会
- ・ 商品-商品生産は廃絶できないか？(5)-商品世界の根本的転覆に向けて- 国崎 俊

## 109号(1990年9月)

- ・ イラクのクウェート侵攻と国際秩序の再編
- ・ 在日朝鮮人の反差別運動の質と『差別糾弾』をめぐって
- ・ 日朝プロレタリアートの革命的な団結のために
- ・ 商品-商品生産は廃絶できないか？(4)-商品世界の根本的転覆に向けて- 国崎 俊

## 108号(1990年8月)

- ・ 『第三の道』と『六・二提言』をめぐって-在日朝鮮人運動で論議されていること- 高橋 涉
- ・ 日本人-在日朝鮮人プロレタリアートの新たな革命的団結を戦い取ろう！ 改悪入管法施行反対！ 日帝の盧泰愚招日弾劾！ プロレタリア行動委員会
- ・ 商品-商品生産は廃絶できないか？(3)-商品世界の根本的転覆に向けて- 国崎 俊

## 107号(1990年7月)

- ・ いま どのような活動が求められているのか 高橋 涉
- ・ ふたたび今日におけるプロレタリア国際主義の質について-カストロ・キューバ共産党の革命的情熱と苦悩- 国崎 俊
- ・ プロ独を準備する共同の闘いを創出しよう！ プロレタリア行動委員会
- ・ 商品-商品生産は廃絶できないか？(2)-商品世界の根本的転覆に向けて- 国崎 俊

## 106号(1990年6月)

- ・ 民主主義以上のものと民主主義の利用-加藤哲郎著「東欧革命と社会主義」批判- 高橋 涉
- ・ 日朝プロレタリアートの革命的団結を創出しよう！ プロレタリア行動委員会
- ・ 『火花』第97号「中国・東欧の民主化運動について」(1)における「文盲率」という表現について 『火花』編集委員会
- ・ 商品-商品生産は廃絶できないか？-商品世界の根本的転覆に向けて- 国崎 俊

## 105号(1990年5月)

- ・ 新しい運動と新しい組織
- ・ プロレタリアートの階級的成熟をとらえた政治運動を創出しよう！
- ・ 国家批判の視点をめぐって(下) 『国家・権力・社会主義』(プーランツァス)批判

## 104号(1990年4月)

- ・ 新しい情勢とわれわれの課題
- ・ ニカラグア選挙と国際プロレタリアートの任務
- ・ 中国・東欧の民主化運動について(8)
- ・ 中国・東欧の民主化運動について(8)(つづき)
- ・ 国家批判の視点をめぐって(中) 『国家・権力・社会主義』(プーランツァス)批判

## 103号(1990年3月)

- ・ ソ連・東欧の改革運動に対する現時点での評価について
- ・ 中国・東欧の民主化運動について(7)
- ・ プロレタリアートの政治的自由を拡大し徹底した民主主義をかちとろう！
- ・ 国家批判の視点をめぐって(上)

## 102号(1990年2月)

- ・ 今日におけるプロレタリア国際主義の質について
- ・ 中国・東欧の民主化運動について(6)
- ・ プロレタリア国際主義の精神で武装し共産主義革命をめざす新たな政治・運動を創出しよう！
- ・ 入管法改『正』弾劾！入管体制解体！日朝プロレタリアートの結合を戦い取ろう！

## 101号(1990年1月)

- ・ 何が問題になっているのか？-SPDの転換の意味-
- ・ 先進資本主義国の動揺と新しい『政治』
- ・ 中国・東欧の民主化運動について(5)
- ・ 新山剛寄稿論文に対する我々の批判的覚書について

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年  
 2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 113号(1991年1月)～124号(1991年12月)

## 124号(1991年12月)

- ・新しい運動と新しい組織をめぐる論戦を全面的に発展させよう 『火花』編集委員会
- ・伊藤「革命論」体型はYCLをどこに導こうとするのかー『国際主義』22号批判ー 国崎 俊

## 123号(1991年11月)

- ・マルクス、エンゲルス、レーニンを継承するのか否か それが問われている 国崎 俊
- ・新たな国際連帯運動の展開を！ プロレタリア行動委員会
- ・「ネオ・マルクス主義国家論批判」についてー共産同赫旗派批判(5)ー 長崎 修

## 122号(1991年10月)

- ・PKO法案と国際国家ニッポン 国崎 俊
- ・天皇のASEAN歴訪反対運動の性格と方向性をめぐって 『戦士』編集委員会
- ・8月の集会から 早瀬隆一
- ・『核・原子力と現代帝国主義』についてー共産同赫旗派批判(4)ー 斎藤 隆雄

## 121号(1991年9月)

- ・ソ連における階級闘争の新局面 国崎 俊
- ・＜共生＞をめぐる議論によせて
- ・パブルは本当にはじけたか 国崎 俊
- ・「日帝打倒・米帝一掃・社会主義」についてー共産同赫旗派批判(3)ー 高橋 渉

## 120号(1991年8月)

- ・「G7+1」の意味するものー新たな国際階級闘争のはじまりー 国崎 俊
- ・ポスト・モダン派と今日の思想情況 国崎 俊
- ・第2回外登法・入管法と民族差別を撃つ全国研究交流会のしめすもの 『火花』編集委員会
- ・われわれの基本的任務 プロレタリア行動委員会
- ・「火花派綱領草案の欠陥」についてー共産同赫旗派批判(1)ー 『火花』編集委員会
- ・「ソ連＝国家独占資本主義」説についてー共産同赫旗派批判(2)ー 高橋 渉

## 119号(1991年7月)

- ・赫旗派批判を開始するにあたって 『火花』編集委員会
- ・新しい組織活動の質と形態について 国崎 俊

## 118号(1991年6月)

- ・大衆の自主的な活動の意義を明らかにし その全面的な発展を組織しよう プロレタリア行動委員会
- ・市場社会ー代議制民主主義を絶対化するニヒリズム(2)ーP. ロザンヴァロン『ユートピア資本主義』批判 国崎 俊
- ・ブルジョア個人主義者の国家批判 高橋 渉

## 117号(1991年5月)

- ・ヨーロッパにおける運動の新しい質 高橋 渉
- ・パレスチナ解放闘争断固支持！ 運動の新たな統一を実現しよう！ プロレタリア行動委員会
- ・市場社会ー代議制民主主義を絶対化するニヒリズムーP. ロザンヴァロン『ユートピア資本主義』批判 国崎 俊

## 116号(1991年4月)

- ・湾岸戦争と民族問題ー被抑圧民族の自決権をめぐるー 高橋 渉
- ・湾岸戦争をめぐる政治流動と我々の進むべき道 『戦士』編集委員会
- ・世界中の闘う友人との連帯と結合を推し進めよう！ プロレタリア行動委員会
- ・「日の丸・君が代」義務化攻撃とブルジョアジーの当惑 三田村 亮

## 115号(1991年3月)

- ・中東危機は拡大する 三田村 亮
- ・湾岸戦争と帝国主義ニッポン 国崎 俊
- ・反戦運動の国際的発展をかちとろう！ー日帝の参戦を許すな！ー プロレタリア行動委員会
- ・コカインとLW戦略 土田 信

## 114号(1991年2月)

- ・今回の戦争に対するわれわれの態度 『火花』編集委員会
- ・湾岸戦争が示していることー戦争と資本主義ー 高橋 渉
- ・ソ連邦の維持か、ソ連邦の止揚かーベレストロイカと民族問題 国崎 俊
- ・日帝・海部の訪韓と闘争し 日朝共同闘争を拡大させよう！ プロレタリア行動委員会
- ・『即位の礼・大嘗祭』反対闘争の高揚を引き継ぎ新たな政治運動の展開を創り出そう！ プロレタリア行動委員会

## 113号(1991年1月)

- ・意識性と計画と政治闘争ーわれわれの活動の性格、方向についてー 『火花』編集委員会
- ・商品ー商品生産は廃絶できないか？(8)ー商品世界の根本的転覆に向けてー 国崎 俊

[このページの先頭へ]

[HOME | バックナンバー | 総領 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年  
2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

### 125号(1992年1月)～136号(1992年12月)

#### 136号(1992年12月)

- ・ 大衆の政治不信が高まることは良くないことか? 国崎 俊
- ・ 権力による暴行―拷問弾圧を弾劾する プロレタリア行動委員会
- ・ PKO法案を巡る流動(2) 渋谷 一三
- ・ 三里塚党争の現局面について(3)―公開シンポジウムにおける「戦術」について― 長崎 修
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(7) 国崎 俊

#### 135号(1992年11月)

- ・ PKO法案を巡る流動(1) 渋谷 一三
- ・ 三里塚党争の現局面について(2)―地域振興連絡協議会、公開シンポジウムについて― 長崎 修
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(6) 国崎 俊
- ・ 「歴史は終わっていない」(2)〈補論〉について 高橋 渉

#### 134号(1992年10月)

- ・ 「歴史は終わっていない」(2)―F. フクヤマ著『歴史の終わり』批判― 高橋 渉
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(5) 国崎 俊
- ・ 三里塚党争の現局面について(1) 蔵森庄造

#### 133号(1992年9月)

- ・ 「歴史は終わっていない」(1)―F. フクヤマ著『歴史の終わり』批判― 高橋 渉
- ・ PKO・自衛隊派兵と闘おう! 長崎 修
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(4) 国崎 俊

#### 132号(1992年8月)

- ・ 参院選の結果と議会政治の構造 三田村 亮
- ・ 批評ということについて 国崎 俊
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(3) 国崎 俊

#### 131号(1992年7月)

- ・ 新しい国際的なプロレタリアートの協働を創り出そう! プロレタリア行動委員会
- ・ “国籍・民族―国家”の枠組みを越え、人々の新しい結合関係を創り出そう! 一反「入管法」運動関西交流会(李英和事務局長)の参議院選挙闘争への取り組みをめぐる― プロレタリア行動委員会
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(2) 国崎 俊

#### 130号(1992年6月)

- ・ PLO・パレスチナ人民の闘いに断固連帯しよう! プロレタリア行動委員会
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(1) 国崎 俊
- ・ [投稿] 国崎論文の『国際主義』22号批判への意見・反論(下) 『国際主義』編集会議(旧青共同) 伊藤 一

#### 129号(1992年5月)

- ・ 「反入管法運動 関西交流会」の分裂をめぐる― プロレタリア行動委員会
- ・ [投稿] 国崎論文の『国際主義』22号批判への意見・反論(上) 『国際主義』編集会議(旧青共同) 伊藤 一

#### 128号(1992年4月)

- ・ 構造的崩壊へと向かう政党政治・議会政治 三田村 亮
- ・ <商品―民主主義>空間の衰弱とプロレタリアートの階級闘争 国崎 俊
- ・ [研究ノート] アイス民族解放と我々の課題 竹沢敬徳

#### 127号(1992年3月)

- ・ ソ連共産党解体その後 国崎 俊
- ・ 「障害」をもつ生徒への暴行致死事件を考える 三田村 亮
- ・ 人間の<魂>の救済と商品の<魂>―最近の宗教ブームについてのメモ― 国崎 俊

#### 126号(1992年2月)

- ・ パレスチナ解放闘争の苦闘と前進 国崎 俊
- ・ プッシュ来日反対! 「国際貢献」をめぐる大衆的流動に向き合い、世界史的建設主体の位置に立つ運動を創り出そう! プロレタリア行動委員会
- ・ エンゲルス、スターリンは権力奪取を革命の主目的にしていたという主張は正しいか―『国際主義』第22号批判(2)― 国崎 俊

#### 125号(1992年1月)

- ・ 大激動の時代に向けて 国崎 俊
- ・ 三里塚闘争についてのわれわれの活動―91年春季三里塚闘争報告会から― 長崎 修
- ・ 赫旗派からの反批判とわれわれの論戦についての考え―共産同赫旗派批判(6)― 長崎 修
- ・ 真に国際的な連帯へと向かう運動を創り出そう! プロレタリア行動委員会
- ・ 新しい社会―新しい人々の結合関係の創造へと進んでいこう! プロレタリア行動委員会

[このページの先頭へ]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年  
 | 2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 137号(1993年1月)～148号(1993年12月)

## 148号(1993年12月)

- ・ 1980年代のプロレタリアート(1) 流 広志
- ・ 「インディオ・黒人・民衆の500年」をめぐる一考察(1) 早瀬隆一
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(19) 国崎 俊

## 147号(1993年11月)

- ・ NGOの国際協力活動をめぐって(2) 杉本修平
- ・ 人々の自主的な活動を全面的に発展させよう! プロレタリア行動委員会
- ・ エイズ(HIV)問題を巡る状況と運動 埴生 満
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(18) 国崎 俊

## 146号(1993年10月)

- ・ NGOの国際協力活動をめぐって(1) 杉本修平
- ・ 自由主義者ハイエクのユートピア(2) -プロレタリアートにとっての計画とは何か? 流 広志
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(17) 国崎 俊

## 145号(1993年9月)

- ・ 自由主義者ハイエクのユートピア(1) -プロレタリアートにとっての計画とは何か? 流 広志
- ・ <投稿>在日党の選挙活動に参加して 立石共一
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(16) 国崎 俊

## 144号(1993年8月)

- ・ 93年衆議院総選挙結果分析 渋谷 一三
- ・ "政治不信"への一考察 早瀬隆一
- ・ 公開シンポジウムを通じて何が明らかになったか(下)-「熱田派」の問題意識をめぐって- 蔵森庄造
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(15) 国崎 俊

## 143号(1993年7月)

- ・ 「自衛隊はカンボジアから即時撤退せよ!」というスローガンについて 里野 凜
- ・ 公開シンポジウムを通じて何が明らかになったか(上)-強制収容取り下げをめぐって- 長崎 修
- ・ <投稿>ニカラグア・中米一転換期の情勢と革命党の新たな戦術(4)-「PP21 日本・中米国際セミナー」レポート- 藤沢郁也
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(14) 国崎 俊

## 142号(1993年6月)

- ・ 帝国主義弾劾のためのカンボジア情勢への言及か、カンボジアの人々との回路を広げていくための帝国主義-国連政治への批判か 里野 凜
- ・ キューバにおける「社会主義の改革」と「人民権力議会選挙」をめぐって 杉本修平
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(13) 国崎 俊

## 141号(1993年5月)

- ・ 国連=国家間政治の超克のために 早瀬隆一
- ・ <投稿>ニカラグア・中米一転換期の情勢と革命党の新たな戦術(3)-「PP21 日本・中米国際セミナー」レポート- 藤沢郁也
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(12) 国崎 俊

## 140号(1993年4月)

- ・ 「改悪」された外国人登録法 竹沢敬徳
- ・ 朝鮮労働党への態度について(2) 永上 潤
- ・ 金日成政権とともに進むのか、それとも共和国の労働者大衆とともに進むのか 永上 潤
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(11) 国崎 俊

## 139号(1993年3月)

- ・ 朝鮮労働党への態度について(1) 永上 潤
- ・ <投稿>ニカラグア・中米一転換期の情勢と革命党の新たな戦術(2)-「PP21 日本・中米国際セミナー」レポート- 藤沢郁也
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(10) 国崎 俊

## 138号(1993年2月)

- ・ クリントンはアメリカ政治社会の衰弱を救えるか 国崎 俊
- ・ 米帝が再びイラクを空爆したことについて 渋谷 一三
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(9) 国崎 俊
- ・ 第137号渋谷論文に対する疑問への返答と読者のみなさんへのお詫び 渋谷 一三

## 137号(1993年1月)

- ・ 新しい運動の模索と展開-カンボジアPKOをめぐって 里野 凜
- ・ ソマリアへの多国籍軍の侵攻をめぐって 渋谷 一三
- ・ 三里塚党争の現局面について(4)-討論の紹介- 蔵森庄造
- ・ <投稿>ニカラグア・中米一転換期の情勢と革命党の新たな戦術(1)-「PP21 日本・中米国際セミナー」レポート- 藤沢郁也
- ・ 量子力学の発展と唯物論の擁護(8) 国崎 俊

[このページの先頭へ]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年  
 | 2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 149号(1994年1月)～160号(1994年12月)

## 160号(1994年12月)

- ・チアバスからの問いかけ—アグアスカリエンテス・大いなる“計画”の構築への一步—(1) 早瀬隆一
- ・<研究ノート> ソビエト計画経済崩壊の教訓 斎藤隆雄

## 159号(1994年11月)

- ・フィリピン共産党の分裂について(1) 渋谷 一三
- ・『北朝鮮亡命者50人の証言』(AERA.No.42/94.10.17) から 里野 凜
- ・スターリン党論批判(3) 流 広志

## 158号(1994年10月)

- ・『緑旗』—左京署名文章による批判に応じて 水上潤
- ・スターリン党論批判(2) 流 広志

## 157号(1994年9月)

- ・キューバ・8月 早瀬隆一
- ・金日成の死をめぐって 水上潤
- ・<投稿> 横浜国際エイズ会議とHIV(エイズ)問題を巡る運動について 浜野 麻緒
- ・スターリン党論批判(1) 流 広志

## 156号(1994年8月)

- ・「めでたくない50周年」IMF／世銀 南の人々と私たち に参加しての報告 狸穴 裕美
- ・<投稿> 権力組織の弾圧・横暴をはね返し、日朝民衆連帯の流れを創り出そう！ 4・15集会参加者有志
- ・量子力学の発展と唯物論の擁護(23) 国崎 俊

## 155号(1994年7月)

- ・朝鮮民主主義人民共和国の核疑惑問題について 渋谷 一三
- ・『網領改定特別号』『火花』論文集 I～IV』発行のお知らせ
- ・<投稿> 共和国民衆を鞭打つ「経済制裁」を許すな！ 京都府警による政治弾圧を弾劾しよう！ 共和国民衆との連帯の回路を探し出そう！ 4・15集会参加者有志

## 154号(1994年6月)

- ・朝鮮半島情勢の流動の中から、共和国民衆の現実をとらえ、連帯を求めよう！ プロレタリア行動委員会
- ・<投稿> 4・15「北朝鮮民主化支援・全国集会」への破壊行為をめぐって—Aさんの文章への疑問と意見 4・15集会参加者有志
- ・『研究ノート』差異・矛盾・敵対性 流 広志

## 153号(1994年5月)

- ・朝鮮半島をめぐるとこの間の動きについて—プロレタリアートの国際主義を発展させるために— 悟道文雄
- ・<投稿> 4・15「北朝鮮民主化支援・全国集会」への破壊行為を弾劾する！ 4・15集会参加者有志

## 152号(1994年4月)

- ・細川連立政権と新自由主義について 渋谷 一三
- ・量子力学の発展と唯物論の擁護(22) 国崎 俊

## 151号(1994年3月)

- ・共産主義革命の倫理と資本主義批判 流 広志
- ・「インディオ・黒人・民衆の500年」をめぐると考察(3) 早瀬隆一
- ・ハミルトン教授の遺伝子学説に論駁する(1) 水止谷 立里

## 150号(1994年2月)

- ・われわれの新たな活動方向 共産主義者同盟(火花)
- ・メキシコ先住民武装蜂起に関する党書き—武装蜂起支持！サラナス政権の先住民虐殺・弾圧を許すな！— 早瀬隆一
- ・岩井「貨幣論」批判 流 広志
- ・量子力学の発展と唯物論の擁護(21) 国崎 俊

## 149号(1994年1月)

- ・1980年代のプロレタリアート(2) 流 広志
- ・「インディオ・黒人・民衆の500年」をめぐると考察(2) 早瀬隆一
- ・連立政権の政策と不況について 渋谷 一三
- ・量子力学の発展と唯物論の擁護(20) 国崎 俊

[このページの先頭へ]

[HOME | バックナンバー | 網領 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年  
2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

### 161号(1995年1月)～172号(1995年12月)

#### 172号(1995年12月)

- ・ 宗教－法－国家－市民社会の一考察(5) 流 広志
- ・ 「<コラム>『日本人の戦争責任』とは？」を批判する 早瀬隆一
- ・ 「日本人の戦争責任」をめぐる対話によせる 二階堂 譲

#### 171号(1995年11月)

- ・ 宗教－法－国家－市民社会の一考察(4) 流 広志
- ・ 坂本氏への手紙-「聖なる予言」を巡って 斎藤 隆雄
- ・ 「<コラム>『日本人の戦争責任』とは？」への反論 大地 勇
- ・ 新自由主義とケインズ主義 Q&A 渋谷一三

#### 170号(1995年10月)

- ・ 宗教－法－国家－市民社会の一考察(3) 流 広志
- ・ <書評>『小説金日成』 二階堂 譲
- ・ <コラム>「日本人の戦争責任」とは？ 埴生 満

#### 169号(1995年9月)

- ・ 新自由主義とケインズ主義(3) 渋谷一三
- ・ 宗教－法－市民社会－国家の一考察(2) 流 広志

#### 168号(1995年8月)

- ・ 宗教－法－国家－市民社会の一考察(1) 流 広志
- ・ 義援金をめぐる討議報告 『火花』編集委員会
- ・ <書評>『聖なる予言』 坂本巧巳
- ・ 新自由主義とケインズ主義(2) 渋谷一三

#### 167号(1995年7月)

- ・ 新自由主義とケインズ主義(1) 渋谷一三
- ・ <書評> 奥村宏著『法人資本主義の構造』 流 広志
- ・ <コラム> 拉致・監禁について 悟道文雄

#### 166号(1995年6月)

- ・ 「不戦決議」と歴史(戦争)認識について 流 広志
- ・ 統一地方選挙の結果と展望 影浦正之
- ・ 埴生 満さんの疑問に答える 渋谷一三
- ・ 私たちは「官製義援金拒否」を公然と主張すべきか？ 里野 凜

#### 165号(1995年5月)

- ・ 東京共同銀行・金融資本・そしてプロレタリアート 流 広志
- ・ オウム真理教とブルジョア国家との攻防をめぐって 里野 凜
- ・ 本誌164号渋谷論文『阪神大震災について』への疑問-より現実を踏まえた論理的な議論が必要ではないか 埴生 満
- ・ <研究ノート> ソビエト計画経済崩壊の教訓・第二部 斎藤隆雄

#### 164号(1995年4月)

- ・ 阪神大震災について 渋谷一三
- ・ フィリピン共産党の分裂について(3) 渋谷一三
- ・ 中沢新一『はじまりのレーニン』を読む 流 広志

#### 163号(1995年3月)

- ・ 阪神大震災をめぐって 影浦正之
- ・ 民衆自身の自己統治能力の獲得とその下での復興か！政府・資本による復興か！ 二階堂 譲
- ・ [討議資料] 阪神大震災一人々はどう動いたのか？
- ・ <投稿> 阪神大震災の被災地を訪れて
- ・ メキシコ政府の軍事掃討作戦を許すな！EZLNの<可能性>溢れる闘いを防衛すべく、メキシコ政府への国際的批判を集中しよう！ 早瀬隆一
- ・ 価値の運動としての資本主義と共産主義運動の課題(2) 流 広志

#### 162号(1995年2月)

- ・ 再び、赫旗派-深山氏からの批判に答えて 水上潤
- ・ 価値の運動としての資本主義と共産主義運動の課題(1) 流 広志

#### 161号(1995年1月)

- ・ テアパスからの問いかけ-アグアスカリエンテス・大いなる“計画”の構築への一步-(2) 早瀬隆一
- ・ フィリピン共産党の分裂について(2) 渋谷一三

[このページの先頭へ]

[HOME | バックナンバー | 綱領 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | パンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年  
2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

### 173号(1996年1月)～184号(1996年12月)

#### 184号(1996年12月)

- ・行政改革問題にたいするプロレタリアートの態度について
- ・外国人参政権運動が提起するもの(下) 市田 市蔵

#### 183号(1996年11月)

- ・沖繩(1995-1996) 経過とプロレタリアートの態度について 流 広志
- ・96総選挙について 渋谷 一三
- ・エコロジー思想と環境問題を学ぶ 第1回 斎藤 隆雄

#### 182号(1996年10月)

- ・[研究ノート]F. エンゲルス『家族、私有財産および国家の起源』再読(2) 流 広志
- ・[ノート]華青閣告発をめぐって 水上 潤

#### 181号(1996年9月)

- ・『規制緩和』によって何がもたらされるのか 渋谷 一三
- ・岡本武氏をめぐる状況について 水上 潤
- ・[研究ノート]F. エンゲルス『家族、私有財産および国家の起源』再読(1) 流 広志

#### 180号(1996年8月)

- ・外国人参政権運動が提起するもの 市田 市蔵
- ・農業・農民問題と土地問題(2) 流 広志
- ・[学習ノート]日朝共同闘争の歴史的教訓(下) 水上 潤

#### 179号(1996年7月)

- ・民族教育を巡って 斎藤 隆雄
- ・農業・農民問題と土地問題 流 広志
- ・[学習ノート]日朝共同闘争の歴史的教訓(中) 水上 潤

#### 178号(1996年6月)

- ・高速増殖炉「もんじゅ」をめぐって 斎藤 隆雄
- ・農業・農民問題によせて 流 広志
- ・[学習ノート]日朝共同闘争の歴史的教訓(上) -「合同解消」～「内政不干涉」への転換をめぐって- 水上 潤

#### 177号(1996年5月)

- ・1970年代-プロレタリアートにとっての-(5) 流 広志
- ・戦後補償問題について 渋谷 一三
- ・報告 釜江中「日の丸」裁判判決 斎藤 隆雄

#### 176号(1996年4月)

- ・住専問題によせて 渋谷 一三
- ・1970年代-プロレタリアートにとっての(4) 流 広志
- ・プロレタリアートにとっての「領土問題」 市田 市蔵

#### 175号(1996年3月)

- ・比留間さんの投稿に対して 渋谷 一三
- ・比留間琴子さんへ 里野 薫
- ・<研究ノート>『ディリバティブ』について 渋谷 一三
- ・1970年代 -プロレタリアートにとっての-(3) 流 広志

#### 174号(1996年2月)

- ・日本教職員組合の方針転換について 斎藤 隆雄
- ・戦争責任問題について 斎藤 隆雄
- ・<投稿>「コラム」『日本人の戦争責任』とは?」をめぐる一連の対話について 比留間 琴子
- ・植生「反論・批判に答える」論文への批判 渋谷 一三
- ・『聖なる予言』について 渋谷 一三
- ・1970年代-プロレタリアートにとっての-(2) 流 広志

#### 173号(1996年1月)

- ・
- ・1970年代-プロレタリアートにとっての- 流 広志
- ・「<コラム>『日本人の戦争責任』とは?」を巡って-反論・批判に答える 植生 満

[このページの先頭へ]

[\[HOME\]](#) | [\[バックナンバー\]](#) | [\[綱領\]](#) | [\[戦術・組織総括\]](#) | [\[サイト内検索\]](#) | [\[パンフレット\]](#)

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年  
2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

### 185号(1997年1月)～196号(1997年12月)

#### 196号(1997年12月)

- ・臓器移植法成立と臓器移植 渋谷 一三
- ・今日の経済不況はプロレタリアの戦術(政策)を求めているのではないか? 流 広志

#### 195号(1997年11月)

- ・安保改悪=新ガイドライン安保と北朝鮮食糧援助問題 秋沢 皓市
- ・湾岸戦争の一教訓-戦争問題に対する共産主義的回答について 流 広志

#### 194号(1997年10月)

- ・新日米防衛指針(ガイドライン)はアジア太平洋地域の平和と安全を実現できない 流 広志
- ・原発廃炉について 斎藤 隆雄

#### 193号(1997年9月)

- ・部落解放同盟の第3期論批判 渋谷 一三
- ・「歴史」についての一考察 [4] 流 広志

#### 192号(1997年8月)

- ・エコロジー思想と環境問題を学ぶ 第4回 斎藤 隆雄
- ・「歴史」についての一考察 [3] 流 広志

#### 191号(1997年7月)

- ・エコロジー思想と環境問題を学ぶ 第3回 斎藤 隆雄
- ・「歴史」についての一考察 [2] 流 広志

#### 190号(1997年6月)

- ・「歴史」についての一考察 [1] 流 広志
- ・資本主義の現在4 渋谷 一三

#### 189号(1997年5月)

- ・発刊にあたって
- ・エコロジー思想と環境問題を学ぶ 第2回 斎藤 隆雄
- ・流論文への批判と補足(2) 市田 市蔵
- ・資本主義の現在3 渋谷 一三

#### 188号(1997年4月)

- ・流論文への批判と補足(1) 市田 市蔵
- ・現在の歴史教科書論争によせて 流 広志
- ・資本主義の現在2 渋谷 一三
- ・ペルー日本大使公邸占拠を巡る断章 早瀬隆一

#### 187号(1997年3月)

- ・[資料] 小倉利丸さんのホームページで見ることができる「リマ日本大使公邸占拠関係情報」(2/27現在) 里野 凜
- ・超国家的「世界政府」構想を手がかりに世界平和について考える試み 流 広志
- ・資本主義の現在1 渋谷 一三

#### 186号(1997年2月)

- ・ペルー日本大使館占拠事件は世界に何を訴えているか 流 広志
- ・インターネット-MRTA関連情報 里野 凜
- ・阪神淡路大震災への個人補償要求について 渋谷 一三

#### 185号(1997年1月)

- ・行財政改革に見るブルジョアジーの行き詰まり 渋谷 一三
- ・ブルジョア的自由主義か共産主義的自由か? 流 広志

[\[このページの先頭へ\]](#)



## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年  
 | 2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 197号(1998年1月)～208号(1998年12月)

## 208号(1998年12月)

- ・ 昨今の北朝鮮情勢について(上) 市田市蔵
- ・ 労働運動を考える(4) 流 広志

## 207号(1998年11月)

- ・ 労働運動を考える(3) 流 広志
- ・ マルチカルチュラルイズム(多文化主義)のゆくえーオーストラリアの人種・エスニック問題をめぐって 3 杉本 修平

## 206号(1998年10月)

- ・ ドイツ社民党政権の誕生が意味するもの 渋谷一三
- ・ <書評>『資本主義の現在』マルクス主義復活宣言(旭凡太郎著) 流 広志

## 205号(1998年9月)

- ・ 沈黙と抵抗、そして、サバティスタ新たなる宣言(2) 早瀬隆一
- ・ 労働運動を考える(2) 流 広志
- ・ マルチカルチュラルイズム(多文化主義)のゆくえーオーストラリアの人種・エスニック問題をめぐって 2 杉本 修平

## 204号(1998年8月)

- ・ 参議院選の結果と現下の日本の経済 渋谷 一三
- ・ 沈黙と抵抗、そして、サバティスタ新たなる宣言(1) 早瀬隆一
- ・ 労働運動を考える(1) 流 広志

## 203号(1998年7月)

- ・ マルチカルチュラルイズム(多文化主義)のゆくえーオーストラリアの人種・エスニック問題をめぐって 1 杉本 修平
- ・ 共産主義再生のための幾つかのポイント 流 広志

## 202号(1998年6月)

- ・ 独占資本のための新ガイドライン・有事立法の狙い 流 広志
- ・ 現代資本主義のスケッチ 渋谷 一三
- ・ 『火花』201号渋谷論文への若干のコメント 流 広志

## 201号(1998年5月)

- ・ ASEAN諸国の通貨危機と日本の金融危機2 渋谷 一三
- ・ 反動的知識人に対する一批判 流 広志

## 200号(1998年4月)

- ・ 沖繩「独立論」について 坂本巧巳
- ・ 沖繩問題についての早瀬さんの疑問に答える 流 広志
- ・ 環境問題学習 再論 杉本さんへの手紙 斎藤 隆雄
- ・ <投稿>「エコロジー思想と環境問題を学ぶ」への意見 杉本一平

## 199号(1998年3月)

- ・ ヤマトプロレタリアートは沖繩「独立論」を無条件支持すべきか 早瀬隆一
- ・ 濟岸危機の中間総括 流 広志

## 198号(1998年2月)

- ・ ASEAN諸国の通貨危機と日本の金融危機 渋谷 一三
- ・ 渋谷氏の批判への返事 流 広志

## 197号(1998年1月)

- ・ アジア経済危機についての中間報告 流 広志
- ・ ガイドラインに関する流論文批判 渋谷 一三
- ・ 緊急報告 チアパスからの悲しい知らせ 早瀬隆一

[このページの先頭へ]

[HOME | バックナンバー | 総領 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

|                |                |                |                |                |                |                |                |                |       |       |       |       |       |       |       |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2014年<br>1998年 | 2013年<br>1997年 | 2012年<br>1996年 | 2011年<br>1995年 | 2010年<br>1994年 | 2009年<br>1993年 | 2008年<br>1992年 | 2007年<br>1991年 | 2006年<br>1990年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

## 209号(1999年1月)～220号(1999年12月)

## 220号(1999年12月)

- ・商品経済の深化と信用の拡大(1) 渋谷一三
- ・東欧「改革」のつきつけたもの(11) 流 広志

## 219号(1999年11月)

- ・東海村臨界事故をめぐって 野瀬邦彦
- ・東欧「改革」のつきつけたもの(10) 流 広志

## 218号(1999年10月)

- ・原発事故と原発政策 朝田秋穂
- ・東欧「改革」のつきつけたもの(9) 流 広志

## 217号(1999年9月)

- ・東欧「改革」のつきつけたもの(8) 流 広志
- ・「共産主義運動年誌(仮称)編集委員会の呼びかけ」素案について 渋谷一三

## 216号(1999年8月)

- ・ついに行われた脳死臓器移植について(4) 渋谷一三
- ・東欧「改革」のつきつけたもの(7) 流 広志

## 215号(1999年7月)

- ・NATO軍によるコソボ空爆について 山村 聡
- ・東欧「改革」のつきつけたもの(6) 流 広志

## 214号(1999年6月)

- ・ついに行われた脳死臓器移植について(3) 渋谷一三
- ・東欧「改革」のつきつけたもの(5) 流 広志
- ・「ガイドライン法案反対！北朝鮮民主化支援！—国際的なプロレタリアートの協同を作り出していこう！プロレタリア行動委員会

## 213号(1999年5月)

- ・東欧「改革」のつきつけたもの(4) 流 広志
- ・ついに行われた脳死臓器移植について(2) 渋谷一三
- ・昨今の北朝鮮情勢について(番外) 市田市蔵

## 212号(1999年4月)

- ・「研究ノート」教育論の新しい動きと公教育制度の未来 斉藤隆雄
- ・東欧「改革」のつきつけたもの(3) 流 広志

## 211号(1999年3月)

- ・ついに行われた脳死臓器移植について(1) 渋谷一三
- ・東欧「改革」のつきつけたもの(2) 流 広志

## 210号(1999年2月)

- ・東欧「改革」のつきつけたもの(1) 流 広志
- ・昨今の北朝鮮情勢について(中) 市田市蔵

## 209号(1999年1月)

- ・英米によるイラク空爆の侵略戦争反対！新ガイドライン安保反対！—ブルジョアジーの戦争を阻止するために— 流 広志
- ・ユーロ発足について 渋谷一三

[このページの先頭へ]

## 『火花』総目次

|       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 |
| 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年 |       |       |       |       |       |       |       |

## 221号(2000年1月)～232号(2000年12月)

## 232号(2000年12月)

- ・戦術論争発展のためにー構造改革派と復原理論と『国際主義』編集会議と火花派との間でー 流 広志
- ・[学習ノート]経済学ウォッチング(4) 斉藤隆雄

## 231号(2000年11月)

- ・現代唯物論発展のために 流 広志
- ・[学習ノート]経済学ウォッチング(3) 斉藤隆雄

## 230号(2000年10月)

- ・教科書問題での右派の破綻と教育問題小論 流 広志
- ・「ノート」『天皇制=部落差別の元凶』という主張について 氷上 潤

## 229号(2000年9月)

- ・[学習ノート]経済学ウォッチング(2) 斉藤隆雄
- ・石原都政に反映するブルジョア政治の反人民性 流 広志

## 228号(2000年8月)

- ・帝国主義国際秩序に代わるプロレタリア的秩序を！ 流 広志
- ・[学習ノート]経済学ウォッチング(1) 斉藤隆雄

## 227号(2000年7月)

- ・金融資本の現在と戦術について 流 広志
- ・＜沖縄・軍隊・女性＞をめぐるメモ＝沖縄サミット闘争に向けた一視角 杉本修平

## 226号(2000年6月)

- ・森登置に見る統治危機と迷走する右派 流 広志
- ・資本主義世界分析ーマルクスは復活したかー(5) 斉藤隆雄

## 225号(2000年5月)

- ・米国株価急落について 渋谷一三
- ・革命のイメージ断章 流 広志
- ・資本主義世界分析ーマルクスは復活したかー(4) 斉藤隆雄

## 224号(2000年4月)

- ・日本の階級階層の現状について 流 広志
- ・ジョージ・ソロス著『グローバル資本主義の危機』読書ノート 渋谷一三

## 223号(2000年3月)

- ・改定入管法(1999年)と在日外国人政策の諸問題 流 広志
- ・資本主義世界分析ーマルクスは復活したかー(3) 斉藤隆雄

## 222号(2000年2月)

- ・東欧「改革」のつきつめたもの(13) 流 広志
- ・資本主義世界分析ーマルクスは復活したかー(2) 斉藤隆雄

## 221号(2000年1月)

- ・資本主義世界分析ーマルクスは復活したかー 斉藤隆雄
- ・東欧「改革」のつきつめたもの(12) 流 広志

[このページの先頭へ]

## 『火花』総目次

|                |                |                |                |                |                |                |                |                |       |       |       |       |       |       |       |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2014年<br>1988年 | 2013年<br>1997年 | 2012年<br>1996年 | 2011年<br>1995年 | 2010年<br>1994年 | 2009年<br>1993年 | 2008年<br>1992年 | 2007年<br>1991年 | 2006年<br>1990年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

## 233号(2001年1月)～244号(2001年12月)

## 244号(2001年12月)

- ・ 米英帝国主義のアフガン侵略戦争とわれわれの任務 流 広志
- ・ 米国への同時多発攻撃にみる帝国主義の論理破綻(4) 渋谷一三

## 243号(2001年11月)

- ・ 戦争と共産主義の党 流 広志
- ・ 米国への同時多発攻撃にみる帝国主義の論理破綻(3) 渋谷一三
- ・ 2001年9月11日—そしてそれから 早瀬隆一

## 242号(2001年10月)

- ・ 9・11事件を利用した帝国主義戦争に反対する 流 広志
- ・ 米国への同時多発攻撃にみる帝国主義の論理破綻(2) 渋谷一三

## 241号(2001年9月)

- ・ 米国への同時多発攻撃にみる帝国主義の論理破綻 渋谷一三
- ・ 現代唯物論発展のために(7) 流 広志

## 240号(2001年8月)

- ・ 小泉構造改革のゆくえと参議院選挙の結果 渋谷一三
- ・ 小泉政治批判とプロレタリア革命 流 広志
- ・ 経済学ノート(1) 渋谷一三

## 239号(2001年7月)

- ・ 大資本のための「骨太の方針」と小泉政治の意味するもの 流 広志
- ・ 「学習ノート」経済学ウォッチング(8) 斉藤隆雄

## 238号(2001年6月)

- ・ 小泉人気と小泉改革のゆくえ 渋谷一三
- ・ 現代唯物論発展のために(6) 流 広志

## 237号(2001年5月)

- ・ 現代唯物論発展のために(5) 流 広志
- ・ 共産主義者同盟(火花)総領(1994年改定)

## 236号(2001年4月)

- ・ 現代唯物論発展のために(4) 流 広志
- ・ 「学習ノート」経済学ウォッチング(7) 斉藤隆雄

## 235号(2001年3月)

- ・ 遠征 尊厳の行進、大地の色の行進、メキシコ市到着 早瀬隆一
- ・ 「麗に嵌った日本史」を読む 渋谷一三
- ・ 「学習ノート」経済学ウォッチング(6) 斉藤隆雄
- ・ 現代唯物論発展のために(3) 流 広志

## 234号(2001年2月)

- ・ 現代唯物論発展のために(2) 流 広志
- ・ 「学習ノート」経済学ウォッチング(5) 斉藤隆雄

## 233号(2001年1月)

- ・ <急告>2001年2月メキシコシティへの注目 早瀬隆一
- ・ <緊急>権力-公安の不当強圧とそれとの闘いについて 流 広志

[このページの先頭へ]

[HOME | バックナンバー | 編集 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 |  
1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 245号(2002年1月)～256号(2002年12月)

## 256号(2002年12月)

- ・いくつかの現状分析ノート 流 広志
- ・公学校体制の終焉と私学体制(1) 渋谷一三

## 255号(2002年11月)

- ・「竹中金融相改革案」と改革案反対派の構造 渋谷一三
- ・生活の不確かさや不幸を増やす帝国主義資本主義と戦争 流 広志

## 254号(2002年10月)

- ・日朝首脳会談を問う 市田市蔵
- ・ハイエク主義や新自由主義が危機を運く理由 流 広志
- ・＜書評＞「マルコス ここは世界の片隅なのか」への誘い 早瀬隆一

## 253号(2002年9月)

- ・米帝の対イラク戦争反対 1 流 広志
- ・新しい世界観の構築に向けて 斉藤隆雄

## 252号(2002年8月)

- ・戦争の危険とプロレタリアート 流 広志
- ・脳死臓器移植について(4) 渋谷一三

## 251号(2002年7月)

- ・世界資本主義の現状分析(1)グローバル経済 渋谷一三
- ・国家と革命をめぐる『トランスクリティーク』等々(8) 流 広志

## 250号(2002年6月)

- ・国家と革命をめぐる『トランスクリティーク』等々(2) 流 広志

## 249号(2002年5月)

- ・欧州における極右の躍進 渋谷一三
- ・国家と革命をめぐる『トランスクリティーク』等々 流 広志

## 248号(2002年4月)

- ・檢森孝雄同志追悼
- ・イスラエルのパレスチナ侵攻虐殺を弾劾する 流 広志
- ・日本国家の現状についてのノート 流 広志

## 247号(2002年3月)

- ・アダム・スミスの教育・大学論と大学(教育)をめぐる諸問題について 流 広志
- ・[学習ノート]経済学ウォッチング(10) 斉藤隆雄

## 246号(2002年2月)

- ・ブッシュ政権と小泉政権の現実について 流 広志
- ・[学習ノート]経済学ウォッチング(9) 斉藤隆雄

## 245号(2002年1月)

- ・はつまりしてきた21世紀初頭の世界 渋谷一三
- ・現代唯物論発展のために(8) 流 広志

[このページの先頭へ]

[HOME | バックナンバー | 編集 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 |  
1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 257号(2003年11月)～268号(2003年12月)

268号(2003年12月)

- ・ [イラク解放闘争、国際反戦運動、イラク侵略戦争の現状等について](#) 流 広志
- ・ [流さんの反批判へのとりあえずのコメント](#) 早瀬隆一

267号(2003年11月)

- ・ [早瀬さんの異論に答えて](#) 流 広志
- ・ [イラク情勢について](#) 渋谷一三
- ・ [第43回衆議院議員選挙結果について](#) 渋谷一三

266号(2003年10月)

- ・ [北朝鮮問題、拉致問題、帝国主義侵略戦争の進歩性と反動性の弁証法について](#)、少々。 流 広志
- ・ [流論文への異論—私は帝国主義による北朝鮮への戦争を認めようとは思わない—](#) 早瀬隆一

265号(2003年9月)

- ・ [北の脅威論に対する態度](#)、渋谷一三
- ・ [新しい世界観の構築に向けて\(3\)](#) 斉藤隆雄

264号(2003年8月)

- ・ [米英帝国主義のイラク侵略戦争の理局面と反戦運動について](#) 流 広志
- ・ [火花264号「流論文II」について—拉致問題、朝鮮労働党への態度を巡って—](#) 野瀬邦彦

263号(2003年7月)

- ・ [研究ノート 生産的労働と不生産的労働\(3\)](#) 流 広志

262号(2003年6月)

- ・ [研究ノート 生産的労働と不生産的労働\(2\)](#) 流 広志

261号(2003年5月)

- ・ [反戦運動の意義と課題—民衆の力を—](#) 坂本巧巳
- ・ [研究ノート 生産的労働と不生産的労働](#) 流 広志

260号(2003年4月)

- ・ [米英の対イラク戦争について](#)、渋谷一三

259号(2003年3月)

- ・ [イラク人民虐殺の対イラク侵略戦争に反対しよう!](#) 流 広志

258号(2003年2月)

- ・ [米英の対イラク戦争反対! 国際反戦闘争に起とう!](#) 流 広志

257号(2003年1月)

- ・ [新しい世界観の構築に向けて\(2\)](#) 斉藤隆雄
- ・ [対イラク侵略戦争の危機と成長する革命の条件](#) 流 広志
- ・ [2003年の情勢と日本経済](#) 渋谷一三

[このページの先頭へ]

[HOME | バックナンバー | 総領 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | パンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 269号(2004年1月)～280号(2004年12月)

280号(2004年12月)

- ・ 議会制は狭いが、労働者大衆の民主主義は多様である 流 広志

279号(2004年11月)

- ・ イラク情勢について(6) 渋谷一三
- ・ イラク解放闘争連帯！世界の労働者民衆運動の発展に向けて 流 広志

278号(2004年10月)

- ・ 現在のイラク情勢と反戦・国際連帯のスローガンをめぐって—討論報告(2)「火花」編集委員会
- ・ ロシア共産党史の—教訓—党についての小論— 流 広志

277号(2004年9月)

- ・ 現在のイラク情勢と反戦・国際連帯のスローガンをめぐって—討論報告「火花」編集委員会
- ・ ヘゲモニーと労働運動 流 広志

276号(2004年8月)

- ・ イラク情勢について(4) 渋谷一三
- ・ 今月の情勢、新社会創造の共同の力を育てよう 流 広志

275号(2004年7月)

- ・ 第20回参議院議員選挙の結果について 渋谷一三
- ・ 社会運動の現実批判のいくつかの批判的検討 流 広志

274号(2004年6月)

- ・ Winnie 闘争者逮捕—「知的財産」、思い込み、私有制との闘争 坂本巧巳
- ・ イラク・沖繩などの解放闘争と結合する社会政治革命を 流 広志
- ・ 誰のための、何のための「支援」か？—中村哲さん(ベンジャール会現地代表・PMS院長)が伝えること 杉本修平

273号(2004年5月)

- ・ メディアと国家、運動に関するノート—辺見庸氏の最近のエッセイを通して 杉本修平
- ・ イラク「人質事件」を巡るいくつかの事柄 早瀬隆一
- ・ 貧困と戦争を生む帝国主義を廃絶し、共産制社会を！ 流 広志

272号(2004年4月)

- ・ イラク情勢について(3) 渋谷一三
- ・ イラク解放戦争と国際・国内プロレタリアートの闘い 流 広志

271号(2004年3月)

- ・ 国鉄・JR問題に現れた小泉改革路線の破綻について 流 広志
- ・ アフガニスタン・イラク侵略戦争の歴史的背景について、少々。イラク侵略にポディプロをあげせた3・20国際反戦運動、少々。 流 広志

270号(2004年2月)

- ・ 民主対独裁図式や功利主義・プラグマティズムによるイラク戦争正当化批判 流 広志
- ・ イラク情勢について(2) 渋谷一三

269号(2004年1月)

- ・ 2004年 年頭にあたって 渋谷一三
- ・ 支配的思想批判、少々。—プラグマティズムを中心に— 流 広志

[このページの先頭へ]

[HOME | バックナンバー | 編者 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 |  
1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 281号(2005年1月)～292号(2005年12月)

292号(2005年12月)

- ・ 資本対労働、私有制対共有制、組織文化等をめぐる闘いの発展は、直接に共産制社会を目指す運動を要求している 流 広志

291号(2005年11月)

- ・ 極端な個人主義利己主義カルト體体のために 流 広志

290号(2005年10月)

- ・ 資本主義世界と革命 齋藤 隆雄
- ・ 第44回衆議院議員選挙結果分析 渋谷 一三
- ・ 社会が根本的に変わらなければ水不足や環境問題は解決しない 流 広志

289号(2005年9月)

- ・ 「二極化」を打破し、人々の革命欲求に応えるプロレタリア党を! 流 広志

288号(2005年8月)

- ・ 小泉ブルジョア独裁をプロレタリアの諸会議体の形成でうち破ろう 流 広志

287号(2005年7月)

- ・ 政体問題について 日本版神話主義的ネオコンを解体するために 流 広志

286号(2005年6月)

- ・ 戦争・帝国主義・民族自決・共産主義 流 広志

285号(2005年5月)

- ・ イラク情勢について(8) 渋谷 一三
- ・ JR福知山線脱線事故—生命を脅かす資本主義 流 広志

284号(2005年4月)

- ・ 2005年の経済情勢(2) 渋谷 一三
- ・ イラク情勢について(7) 渋谷 一三
- ・ 多極化の中の東アジア、「抗日」とプロレタリア国際主義 流 広志

283号(2005年3月)

- ・ 米欧競争激化の最新情勢とよみがえる共産主義 流 広志

282号(2005年2月)

- ・ イラク情勢について(6) 渋谷 一三
- ・ 2005年の経済情勢 渋谷 一三
- ・ 国籍・民族差別撤廃に向けて 流 広志

281号(2005年1月)

- ・ 世界社会フォーラムとフェミニズムについて 流 広志
- ・ 郵政民営化について 渋谷 一三

[このページの先頭へ]



[HOME | バックナンバー | 総領 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 |  
1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 293号(2006年1月)～304号(2006年12月)

## 304号(2006年12月)

- ・政府について(4) 齋藤隆雄
- ・田原芳論文集完結によせて 流 広志

## 303号(2006年11月)

- ・安倍政権の教基法改悪・改憲策動をうち破ろう 流 広志
- ・北朝鮮核実験を巡って「われわれの判断形成に向けた論点」 坂本巧巳

## 302号(2006年10月)

- ・安倍政権下でのヘゲモニー闘争について 流 広志
- ・政府について(3) 齋藤隆雄

## 301号(2006年9月)

- ・政府について(2) 齋藤隆雄
- ・小泉政権5年の総括とヘゲモニー 流 広志

## 300号(2006年8月)

- ・政府について(1) 齋藤隆雄
- ・靖国・愛国心・小泉政治を貫くエゴイズム批判 流 広志

## 299号(2006年7月)

- ・悲観的「ビジョン」に裏打ちされた権威主義で 流 広志

## 298号(2006年6月)

- ・小泉政権の「地方分権」の意味すること 渋谷一三
- ・共産主義のプランを大胆に提起しよう 流 広志

## 297号(2006年5月)

- ・「対テロ戦争＝第三次世界戦争」、恐慌、格差拡大は、革命を呼ぶ 流 広志

## 296号(2006年4月)

- ・小さな政府論を巡って(2) 齋藤隆雄
- ・大衆闘争を総合する共産主義のヘゲモニーを發展させよう 流 広志

## 295号(2006年3月)

- ・「世界社会フォーラム」に関する若干の考察 早瀬隆一
- ・小さな政府論を巡って(1) 齋藤隆雄
- ・大衆闘争の發展と統一を考えるために(草書) 流 広志

## 294号(2006年2月)

- ・労働者大衆の自然発生的共産主義イデオロギーと文化に応える運動を發展させよう 流 広志

## 293号(2006年1月)

- ・年頭にあたって 流 広志

[このページの先頭へ]

## 『火花』総目次

|                |                |                |                |                |                |                |                |                |       |       |       |       |       |       |       |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2014年<br>1998年 | 2013年<br>1997年 | 2012年<br>1996年 | 2011年<br>1995年 | 2010年<br>1994年 | 2009年<br>1993年 | 2008年<br>1992年 | 2007年<br>1991年 | 2006年<br>1990年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

## 305号(2007年1月)～316号(2007年12月)

316号(2007年12月)

- ・ 小沢民主党の行方(1) 渋谷 一三
- ・ 唯物論戦線の構築のためのノート(5) 流 広志

315号(2007年11月)

- ・ 唯物論戦線の構築のためのノート(4) 流 広志

314号(2007年10月)

- ・ 教育問題(1)—公教育制度について「市場化」政策 渋谷 一三
- ・ 唯物論戦線の構築のためのノート(3) 流 広志

313号(2007年9月)

- ・ 唯物論戦線の構築のためのノート(2) 流 広志

312号(2007年8月)

- ・ 第21回参議院議員通常選挙結果について 渋谷 一三
- ・ 唯物論戦線の構築のためのノート(1) 流 広志

311号(2007年7月)

- ・ 9条改憲阻止を革命的スローガンとして掲げるために 流 広志

310号(2007年6月)

- ・ 308号流論文への応答—なお道は長く複雑なので、力まずに行きませんか 植生 満
- ・ 植生さんへの「再応答」として 流 広志

309号(2007年5月)

- ・ 沖縄を最前線基地とする侵略反革命戦争参戦国化を狙う9条改憲を阻止しよう 流 広志

308号(2007年4月)

- ・ 反戦・反改憲運動の中で、共産主義という「大きな物語」を描き、共産主義党建設を追求しよう 流 広志
- ・ 政府について(5) 齋藤隆雄

307号(2007年3月)

- ・ 帝国主義のグローバル化と闘う国際階級闘争の先進的活動家が必要だ 流 広志

306号(2007年2月)

- ・ 政治論議を巻き起こし、プロレタリア政治闘争を発展させよう 流 広志

305号(2007年1月)

- ・ 「御手洗ドジョン」を粉砕し、プロ独政府・共産主義の実現を！ 流 広志

[このページの先頭へ]

## 『火花』総目次

|       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

## 317号(2008年1月)～328号(2008年12月)

## 328号(2008年12月)

- ・ [新自由主義とは何だったのかII](#) 渋谷 一三
- ・ [新自由主義と階級闘争](#) 齋藤 隆雄

## 327号(2008年11月)

- ・ [世界的な経済危機の進行と階級闘争について](#) 流 広志

## 326号(2008年10月)

- ・ [新自由主義とは何だったのか](#) 渋谷 一三
- ・ [新しい時代の新たな願いに向けて](#) 流 広志

## 325号(2008年9月)

- ・ [新しい情勢に対応した共産主義者の党建設を急ごう](#) 流 広志

## 324号(2008年8月)

- ・ [生産管理闘争の一教訓 権力闘争として労働運動を發展させよう!](#) 流 広志

## 323号(2008年7月)

- ・ [闘う労働運動の發展—共産主義と労働運動の結合を!](#) 流 広志
- ・ [チベット独立問題は中国革命に従属しなくてよい ～322号齋藤論文への応答](#) 植生 満

## 322号(2008年6月)

- ・ [洞爺湖サミット粉砕! 反グローバル運動を革命的に支持し、自由主義的国際労働運動潮流に対して、共産主義的国際労働運動潮流を創出しよう!](#) 流 広志
- ・ [政府について\(6\)](#) 齋藤 隆雄

## 321号(2008年5月)

- ・ [320号渋谷論文「チベット問題について」への疑問](#) 植生 満
- ・ [ユニオンと労働運動](#) 流 広志

## 320号(2008年4月)

- ・ [バブルの移転の仕組み—2](#) 渋谷 一三
- ・ [ワーキングプア問題と労働運動について](#) 流 広志
- ・ [チベット問題について](#) 渋谷 一三

## 319号(2008年3月)

- ・ [バブルの移転の仕組み—1](#) 渋谷 一三
- ・ [唯物論戦線の構築のためのノート\(8\)](#) 流 広志

## 318号(2008年2月)

- ・ [唯物論戦線の構築のためのノート\(7\)](#) 流 広志

## 317号(2008年1月)

- ・ [小沢民主黨の行方\(2\)](#) 渋谷 一三
- ・ [唯物論戦線の構築のためのノート\(6\)](#) 流 広志

[[このページの先頭へ](#)]

[HOME](#) | [バックナンバー](#) | [綱領](#) | [戦術・組織総括](#) | [サイト内検索](#) | [パンフレット](#)

## 『火花』総目次

[2014年](#) | [2013年](#) | [2012年](#) | [2011年](#) | [2010年](#) | [2009年](#) | [2008年](#) | [2007年](#) | [2006年](#) | [2005年](#) | [2004年](#) | [2003年](#) | [2002年](#) | [2001年](#) | [2000年](#) | [1999年](#) | [1998年](#) | [1997年](#) | [1996年](#) | [1995年](#) | [1994年](#) | [1993年](#) | [1992年](#) | [1991年](#) | [1990年](#)

## 329号(2009年1月)～340号(2009年12月)

340号(2009年12月)

- ・ [社会主義と言われた像の再検討\(2\)](#) 渋谷 一三

339号(2009年11月)

- ・ [ベーシック・インカムに学ぶー山森亮『ベーシック・インカム入門』からー](#) 齋藤 隆雄

338号(2009年10月)

- ・ [二大政党制の始まりなのか？ー社会主義と言われた像の再検討ー](#) 渋谷 一三

337号(2009年8月)

- ・ [第46回衆議院議員選挙結果分析](#) 渋谷 一三

336号(2009年6月)

- ・ [低金利と架空資本](#) 齋藤 隆雄

335号(2009年7月)

- ・ [またぞろのAU「構想」さわぎ](#) 渋谷 一三

334号(2009年6月)

- ・ [セイフティネット](#) 齋藤 隆雄

333号(2009年5月)

- ・ [新自由主義と階級闘争\(4\)](#) 齋藤 隆雄

332号(2009年4月)

- ・ [小沢党首を守れない民主党の危機](#) 渋谷 一三

331号(2009年3月)

- ・ [信用収縮の動き](#) 渋谷 一三

330号(2009年2月)

- ・ [新自由主義と階級闘争\(3\)](#) 齋藤 隆雄

329号(2009年1月)

- ・ [新自由主義とは何だったのかIII](#) 渋谷 一三
- ・ [新自由主義と階級闘争\(2\)](#) 齋藤 隆雄

[\[このページの先頭へ\]](#)

[\[HOME\]](#) | [バックナンバー](#) | [総領](#) | [戦術・組織総括](#) | [サイト内検索](#) | [パンフレット](#)

## 『火花』総目次

[2014年](#) | [2013年](#) | [2012年](#) | [2011年](#) | [2010年](#) | [2009年](#) | [2008年](#) | [2007年](#) | [2006年](#) | [2005年](#) | [2004年](#) | [2003年](#) | [2002年](#) | [2001年](#) | [2000年](#) | [1999年](#) | [1998年](#) | [1997年](#) | [1996年](#) | [1995年](#) | [1994年](#) | [1993年](#) | [1992年](#) | [1991年](#) | [1990年](#)

### 341号(2010年1月)～352号(2010年12月)

352号(2010年12月)

- ・資本主義はどのように描かれているか(4) 斎藤 隆雄

351号(2010年11月)

- ・尖閣諸島(釣魚台)問題 渋谷 一三

350号(2010年10月)

- ・資本主義はどのように描かれているか(3) 斎藤 隆雄

349号(2010年9月)

- ・5月31日を忘れない 渋谷 一三
- ・資本主義はどのように描かれているか(2) 斎藤 隆雄

348号(2010年8月)

- ・資本主義はどのように描かれているか(1) 斎藤 隆雄

347号(2010年7月)

- ・民主党は参議院議員選挙で予想通り敗退した 渋谷 一三

346号(2010年6月)

- ・低迷する民主党連立政権支持率2 渋谷 一三
- ・民主党は参議院議員選挙で敗退するだろう 渋谷 一三

345号(2010年5月)

- ・ベーシック・インカムをめぐる若干の考察 早瀬隆一
- ・包摂と分断～インクルーシブ教育について 坂本 巧巳

344号(2010年4月)

- ・宮台氏の難点 斎藤 隆雄

343号(2010年3月)

- ・低迷する民主党連立政権支持率 渋谷 一三

342号(2010年2月)

- ・「社会主義」という鏡 斎藤 隆雄

341号(2010年1月)

- ・2010年初頭の経済・政治情勢 渋谷 一三

[\[このページの先頭へ\]](#)

[HOME | バックナンバー | 総領 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 353号(2011年1月)～363号(2011年12月)

## 363号(2011年12月)

- ・ 経済成長(2)—反原発運動を巡る諸問題— 斎藤 隆雄

## 362号(2011年11月)

- ・ TPP加入問題 渋谷 一三
- ・ 世界の通貨の不安定(2) 渋谷 一三
- ・ 見え透いた米仏のリビア政権転覆策動(2) 渋谷 一三

## 361号(2011年10月)

- ・ 経済成長(1)—反原発運動を巡る諸問題— 斎藤 隆雄

## 360号(2011年9月)

- ・ 世界の通貨の不安定 渋谷 一三

## 359号(2011年8月)

- ・ 緑の党は必要か? 斎藤 隆雄

## 358号(2011年6月)

- ・ 賠償問題が暴く事態の本質 斎藤 隆雄
- ・ 脱原発か原発再開かの瀬戸際 渋谷 一三

## 357号(2011年5月)

- ・ 原発のリスクとコスト 斎藤 隆雄

## 356号(2011年4月)

- ・ 原発による被害を最小限とするために(2) 早瀬 隆一
- ・ 見え透いた米仏のリビア政権転覆策動 渋谷 一三
- ・ まだ原発をする農 渋谷 一三

## 355号(2011年3月)

- ・ 資本主義の衰容と社会主義の実験(2) 斎藤 隆雄
- ・ 原発による被害を最小限とするために 早瀬 隆一

## 354号(2011年2月)

- ・ 資本主義の衰容と社会主義の実験(1) 斎藤 隆雄
- ・ 菅政権崩壊後どうするのか 渋谷 一三

## 353号(2011年1月)

- ・ 民主党内闘争 渋谷 一三

[このページの先頭へ]

[HOME | バックナンバー | 総領 | 戦術・組織総括 | サイト内検索 | バンフレット]

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 |  
1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 364号(2012年1月)～374号(2012年12月)

## 374号(2012年12月)

- ・ケインズ主義と名付けられたもの(2) 斎藤 隆雄
- ・第46回 衆議院議員選挙について 渋谷 一三
- ・安倍政権に追随するマスコミ 渋谷 一三

## 373号(2012年11月)

- ・民主・自民・維新・公明に投票してはならない 渋谷 一三

## 372号(2012年10月)

- ・中国との領土紛争が明るみに出したこと 渋谷 一三
- ・金融市場は消滅するのか 渋谷 一三
- ・ケインズ主義と名付けられたもの 斎藤 隆雄

## 371号(2012年9月)

- ・「維新の会」・民主党を消滅させよう 渋谷 一三
- ・反「アラブの春」運動の高揚万歳！ 渋谷 一三

## 370号(2012年7月)

- ・資本主義の容容と社会主義の実験(4) 斎藤 隆雄
- ・原発再開の野田政権の闇 渋谷 一三

## 369号(2012年6月)

- ・EUという社会実験の終わりなのか 渋谷 一三
- ・「アラブの春」の「成功」と誤算 渋谷 一三

## 368号(2012年5月)

- ・消費税増税に反対する(1) 渋谷 一三
- ・資本主義の容容と社会主義の実験(3) 斎藤 隆雄

## 367号(2012年4月)

- ・TPP加入問題(3) 渋谷 一三
- ・イランは核武装する「権利」を有している 渋谷 一三

## 366号(2012年3月)

- ・橋下維新の会の大阪市・府ダブル選挙勝利は何を意味するのか 渋谷 一三

## 365号(2012年2月)

- ・周回遅れの新自由主義と懐い捨てのケインズ主義 斎藤 隆雄

## 364号(2012年1月)

- ・TPP加入問題(2) 渋谷 一三

[このページの先頭へ]

[\[HOME\]](#) | [\[バックナンバー\]](#) | [\[総領\]](#) | [\[戦術・組織総括\]](#) | [\[サイト内検索\]](#) | [\[パンフレット\]](#)

## 『火花』総目次

2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

375号(2013年1月)～384号(2013年12月)

384号(2013年12月)

- ・ 中国式資本主義の未来(1) 斎藤 隆雄

383号(2013年11月)

- ・ 社会主義運動の現状と課題2 渋谷 一三
- ・ 社会主義運動の現状と課題3 渋谷 一三

382号(2013年10月)

- ・ 米国のシリアへの軍事介入弾劾 渋谷 一三
- ・ 劣悪ゆえに世界化する米国標準 渋谷 一三
- ・ 化学兵器を巡る米国の茶番 渋谷 一三

381号(2013年9月)

- ・ 米国のシリアへの軍事介入の公然化—その口実としての化学兵器使用虚構キャンペーン— 渋谷 一三
- ・ 『緑新の会』は消滅させるべきである 渋谷 一三

380号(2013年7月)

- ・ 信用資本主義の収奪構造—安倍黒田政策の帰結 斎藤 隆雄
- ・ エジプトの怪 渋谷 一三
- ・ 第23回参議院議員選挙分析 渋谷 一三

379号(2013年6月)

- ・ 労働者階級の合法政党について 渋谷 一三

378号(2013年5月)

- ・ 希少か、それとも過剰か 斎藤 隆雄

377号(2013年4月)

- ・ アベノミクスのうそ 渋谷 一三

376号(2013年3月)

- ・ 新理論の検討—『債務共和国の終焉』 斎藤 隆雄

375号(2013年1月)

- ・ 政治生命を終わらせた小沢さん 渋谷 一三
- ・ 社会主義運動の現状と課題 渋谷 一三

[\[このページの先頭へ\]](#)



[\[HOME\]](#) | [\[バックナンバー\]](#) | [\[総領\]](#) | [\[戦術・組織総括\]](#) | [\[サイト内検索\]](#) | [\[パンフレット\]](#)

## 『火花』総目次

2015年 | 2014年 | 2013年 | 2012年 | 2011年 | 2010年 | 2009年 | 2008年 | 2007年 | 2006年 | 2005年 | 2004年 | 2003年 | 2002年 | 2001年 | 2000年 | 1999年 | 1998年 | 1997年 | 1996年 | 1995年 | 1994年 | 1993年 | 1992年 | 1991年 | 1990年

## 385号(2014年1月)～394号(2014年12月)

## 394号(2014年12月)

- ・アベノミクスの惨めな失敗—現実の変化の積み重ねとしての歴史認識の欠如— 渋谷 一三
- ・またもや異次元か？ 斎藤 隆雄
- ・創価学会員のみなさんへ 渋谷 一三

## 393号(2014年11月)

- ・IMFに破産宣告されたアベノミクス 渋谷 一三
- ・香港の学生運動と中国共産党 渋谷 一三

## 392号(2014年9月)

- ・資本主義の終焉と歴史の危機 渋谷 一三
- ・安倍政権はファシズムか 斎藤 隆雄

## 391号(2014年8月)

- ・日本も「自由シリア軍」に援助していた！ 渋谷 一三

## 390号(2014年7月)

- ・戦争に加担する党＝公明党 渋谷 一三

## 389号(2014年6月)

- ・イラク情勢2014 —ISISを巡って— 渋谷 一三

## 388号(2014年5月)

- ・破産が約束されているアベノミクス 渋谷 一三
- ・クリミア情勢と民族自決 渋谷 一三
- ・ウクライナの分割問題 斎藤 隆雄

## 387号(2014年3月)

- ・大阪市長選の奇妙な先進性 斎藤 隆雄
- ・都知事選結果に見るファシズムの進行 渋谷 一三
- ・アベノミクスの終わり(2) 渋谷 一三

## 386号(2014年2月)

- ・アベノミクスの終わり 渋谷 一三
- ・中国式資本主義の未来(2) 斎藤 隆雄

## 385号(2014年1月)

- ・2013年という年 渋谷 一三
- ・ファシズムの物的基盤もまた脆弱である 渋谷 一三

[\[このページの先頭へ\]](#)



Communist League (HIBANA, The Spark)

# 共産主義者同盟 (火花) Web Page

## CONTENTS

最終更新日 2018年 6月16日

- ★ 更新情報                      ★ 火花(最新号・バックナンバー)
- \* What's New                    \* HIBANA(The Spark)
- ★ 綱領(1994年6月)            \* 歌術・組織総括(1994年)
- \* The Program June 1984      \* Generalization of the Tactics and the Organization
- ★ サイト内検索                ★ 火花パンフレット
- \* Site search                   \* HIBANA Pamphlet

|   |
|---|
| 定期刊『火花』   |
| ★ 424号(2018年 6月) <del>最新号</del><br>安倍退陣後の政権構想(3) 斎藤 隆雄<br>論議すべき課題は山積しているが、現状の政治が日本経済と同様にマイナスレベルとなっている状態では、手がかりが必要である。本稿では今静かに進行している日本経済の底流で起きている事態を経済成長というカルタからの脱出という観点から論じる。<br>1. 成長経済というカルタ<br>2. 経済成長がでない怪現象<br>3. 資本主義は終わったのか<br>4. 財政ファイナンスが必要だ |
| ★ 423号(2018年 5月)<br>安倍退陣後の政権構想(1) 斎藤 隆雄<br>安倍退陣後の政権構想(2) 斎藤 隆雄  |
| ★ 422号(2018年 3月)<br>3月4日 イタリア総選挙と社民主義政党的欧州での後退 渋谷 一三<br>ミニブラックマンデー 斎藤 隆雄<br>安倍氏の「北朝鮮」利用政治(1) 渋谷 一三<br>安倍氏の「北朝鮮」利用政治(2) 渋谷 一三  |
| ★ 421号(2017年12月)<br>アベクロイズムの新たな混迷(3) 一憲法を巡る問題— 斎藤 隆雄  |
| ★ 420号(2017年11月)<br>第48回衆議院議員選挙結果について 渋谷 一三<br>アベクロイズムの新たな混迷(2) 斎藤 隆雄   |
| ★ 419号(2017年 9月)<br>アベクロイズムの新たな混迷(1)リフレ派を巡る問題 斎藤 隆雄<br>東京都議会議員選挙の宗すもの 渋谷 一三<br>フランス大統領選挙 渋谷 一三  |
| ★ 418号(2017年 6月)<br>安倍お友達国家の行く末 斎藤 隆雄   |
| ★ 417号(2017年 5月) <del>最新号</del><br>戦争国家という選択 斎藤 隆雄  |
| ★ 416号(2017年 4月)<br>トランプ現象と資本主義の終焉 渋谷 一三  |
| ★ 415号(2017年 3月)<br>帝国の崩壊か再生か 斎藤 隆雄   |
| ★ 414号(2017年 1月)<br>富の収奪とトランプ騒動 斎藤 隆雄   |
| ★ 413号(2016年11月)<br>米大統領選挙トランプ氏勝利に見るマスコミの腐敗—テレビは終わっている— 渋谷 一三<br>アベクロイズムの謎解き 斎藤 隆雄  |
| ★ 412号(2016年10月)<br>グローバリズムの終焉としての「うち向き政党」の蔓延 渋谷 一三 <del>最新号</del><br>10月2日 オーストリア首相選挙とハンガリー国民投票の結果<br>—「難民受け入れ拒否」は反進歩的なのが— 渋谷 一三   |
| ★ 411号(2016年 9月)<br>欧州左派が直面する課題 斎藤 隆雄   |
| ★ 410号(2016年 8月)<br>野添議員と小池非公認の原因—権力をおもちゃにする—森 渋谷 一三  |
| ★ 409号(2016年 7月)<br>社会民主主義の終焉?—英国EU離脱の意味 斎藤 隆雄  |
| ★ 408号(2016年 6月)<br>新自由主義の終焉—「資本主義の終焉」の始まり2— 渋谷 一三  |
| ★ 407号(2016年 5月)<br>現代のアナーキズム(3) 斎藤 隆雄<br>米国の金利政策が年み出してしまった資本主義の大混乱—「資本主義の終焉」の始まり— 渋谷 一三  |
| ★ 406号(2016年 3月)<br>米大統領選挙に見る、格差社会への怒り—サンダース候補とトランプ候補の躍進— 渋谷 一三   |
| ★ 405号(2016年 2月)<br>左折改進黨論は誰の方針か 斎藤 隆雄  |
| ★ 404号(2016年 1月)<br>現代のアナーキズム(2) 斎藤 隆雄  |
| ★ 403号(2015年12月)<br>大阪ダブル選挙結果の考察 渋谷 一三<br>フランスの内乱 渋谷 一三   |
| ★ 402号(2015年11月)<br>破綻した米国のアラブ支配戦略—「アラブの春」変動の結果としてのシリア難民 渋谷 一三<br>アベミクスなるものの破産を自認した新3本の矢の茶番 渋谷 一三   |
| ★ 401号(2015年 9月)<br>議院を倒産に追い込もう! 渋谷 一三<br>日本の民主主義を破壊した自公安倍政権 渋谷 一三<br>現代のアナーキズム(1) 斎藤 隆雄<br>大阪都構想を考える 渋谷 一三<br>シリア難民問題を考える 渋谷 一三  |
| ★ 400号(2015年 8月)<br>公明党を消滅させよう!—戦争犯罪の道を歩む公明党— 渋谷 一三   |
| ★ 399号(2015年 7月)<br>世界の多数派—反米派と武力対決する道を進む危険な政治家安倍晋三② 渋谷 一三  |
| ★ 398号(2015年 5月)<br>世界の多数派—反米派と武力対決する道を進む危険な政治家安倍晋三 渋谷 一三<br>都構想の歴史的位階 斎藤 隆雄  |
| ★ 397号(2015年 3月)<br>労働法制改革の意味 斎藤 隆雄<br>安倍政権打倒!—公明党は連立を離脱せよ— 渋谷 一三   |

|                  |   |
|------------------|---|
| ★ 396号(2015年 2月) | 人質は見殺しにすることに方針転換した日本—論議などなしに大転換させた安倍独裁政権— 渋谷 一三<br>「日本人」人質事件 渋谷 一三                |
| ★ 395号(2015年 1月) | 世界の戦争の現実を理解する力もない安倍氏の軍事火遊び 渋谷 一三<br>第47回 衆議院議員選挙結果分析 渋谷 一三                        |
| ★ 394号(2014年12月) | 朝鮮労働者のみなさんへ 渋谷 一三<br>走れも嵐が来たら? 斎藤 隆雄<br>アベノミクスの惨めな失敗—現実の変化の積み重ねとしての歴史認識の欠如— 渋谷 一三 |
| ★ 393号(2014年11月) | 香港の学生運動と中国共産党 渋谷 一三<br>IMFに破産宣告されたアベノミクス 渋谷 一三                                    |
| ★ 392号(2014年 9月) | 安倍政権はファシズムか 斎藤 隆雄<br>資本主義の終焉と歴史の危機 渋谷 一三  |
| ★ 391号(2014年 8月) | 日本も「自由シリア軍」に援助していた! 渋谷 一三<br>1. 米国の「アラブの春」作戦に積極的に加担し出した安倍政権<br>2. 影をひそめた「自己責任論」   |
| ★ 390号(2014年 7月) | 戦争に加担する党=公明党 渋谷 一三  |
| ★ 389号(2014年 6月) | イラク情勢2014—ISISを巡って— 渋谷 一三   |
| ★ 388号(2014年 5月) | 破産が約束されているアベノミクス 渋谷 一三<br>クリミア情勢と民族自決 渋谷 一三<br>ウクライナの分割問題 斎藤 隆雄                   |
| ★ 387号(2014年 3月) | アベノミクスの終わり(2) 渋谷 一三<br>大阪市選の奇妙な先進性 斎藤 隆雄<br>都知事選結果に見るファシズムの進行 渋谷 一三               |
| ★ 386号(2014年 2月) | アベノミクスの終わり 渋谷 一三<br>中国共産主義の未来(2) 斎藤 隆雄  |
| ★ 385号(2014年 1月) | ファシズムの物的基礎もまた脆弱である 渋谷 一三<br>2013年という年 渋谷 一三                                       |
| ★ 384号(2013年12月) | 中国共産主義の未来(1) 斎藤 隆雄  |
| ★ 383号(2013年11月) | 社会主義運動の現状と課題2—農業— 渋谷 一三<br>社会主義運動の現状と課題3—中国— 渋谷 一三                                |
| ★ 382号(2013年10月) | 米国のシリアへの軍事介入強硬 渋谷 一三<br>多難ゆえに世界化する米国防衛 渋谷 一三<br>化学兵器を巡る米国の茶番 渋谷 一三                |
| ★ 381号(2013年 9月) | 米国のシリアへの軍事介入の公然化<br>—その口実としての化学兵器使用虚構キャンペーン— 渋谷 一三<br>「維新の会」は消滅させるべきである 渋谷 一三     |
| ★ 380号(2013年 7月) | 第29回衆議院議員選挙分析 渋谷 一三<br>信用資本主義の収奪構造—安倍黒田政策の帰結 斎藤 隆雄<br>エンブトの怪 渋谷 一三                |
| ★ 379号(2013年 6月) | 労働者階級の合法政党について 渋谷 一三  |
| ★ 378号(2013年 5月) | 希少か、それとも過剰か 斎藤 隆雄   |
| ★ 377号(2013年 4月) | アベノミクスのうそ 渋谷 一三   |
| ★ 376号(2013年 3月) | 新理論の検討—「債務共和国の終焉」 斎藤 隆雄   |
| ★ 375号(2013年 1月) | 政治生命を終わらせた小沢さん 渋谷 一三<br>社会主義運動の現状と課題 渋谷 一三  |
| ★ 374号(2012年12月) | 安倍政権に追いつくマスコミ 渋谷 一三<br>ケインズ主義と名付けられたもの(2) 斎藤 隆雄<br>第46回 衆議院議員選挙について 渋谷 一三         |
| ★ 373号(2012年11月) | 民主・自民・維新・公明に投票してはならない 渋谷 一三   |
| ★ 372号(2012年10月) | 中国との領土紛争が明るみに出したこと 渋谷 一三<br>金融市場は消滅するのか 渋谷 一三<br>ケインズ主義と名付けられたもの 斎藤 隆雄            |
| ★ 371号(2012年 9月) | 「維新の会」・民主党を消滅させよう 渋谷 一三<br>反「アラブの春」運動の高揚万歳! 渋谷 一三                                 |
| ★ 370号(2012年 7月) | 資本主義の衰容と社会主義の実験(4) 斎藤 隆雄<br>原発再開の野田政権の間 渋谷 一三                                     |
| ★ 369号(2012年 6月) | EUという社会実験の終わりなのか 渋谷 一三<br>「アラブの春」の成功と誤算 渋谷 一三                                     |
| ★ 368号(2012年 5月) | 消費増税別に対処する(1) 渋谷 一三<br>資本主義の衰容と社会主義の実験(3) 斎藤 隆雄                                   |
| ★ 367号(2012年 4月) | TPP加入問題(3) 渋谷 一三<br>イランは核武装する「権利」を有している 渋谷 一三                                     |
| ★ 366号(2012年 3月) | 権左維新の会の大敗市・府ダブル選挙勝利は何を意味するのか 渋谷 一三  |
| ★ 365号(2012年 2月) | 届出遅れの新自由主義と使い捨てのケインズ主義 斎藤 隆雄  |
| ★ 364号(2012年 1月) | TPP加入問題(2) 渋谷 一三  |